



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2019.1月号



新しい春の到来を謹んでお慶び申し上げます。

旧年中の平塚市博物館は、近来にない激しい1年を経験しました。有料化された駐車場の事務対応に始まり、初のクラウドファンディング実施と達成、続く事業には一晩に700人以上の方がご来場になり感謝と喜びに包まれたのも束の間、今度は建築面の問題が生じて当面休館という事態に陥ってしまいました。

上がったたり下がったり、と言われますが、その中で決して変わらないのは、いつも周りの方々に支えられているという感覚でした。利用者の方々はもちろん、組織上のつながり、業務や契約の関係、同業の博物館や生涯学習施設、たくさんの絆に支えられて、今日の、そしてこれまでの博物館活動もあったのだということを、改めて感じました。

ですので、今は少し耐える時期になっていますが、「心配」はしていません。あと少しで修復と事故防止の工事も完了し(ここでも教育委員会や業者の方々にごさまざまにお世話になりました)、みなさまと一緒に春を喜ぶときがやって来ます。

春夏秋冬、本年もまた、みなさまに新たな発見をお届けできるよう、職員一同奮起いたします。どうぞ変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成31年(2019年)春 館長 澤村泰彦

写真：メジロ 撮影：岡根武彦 ※岡根氏の野鳥写真は博物館再開館後に企画展を開催します。お楽しみに。

平塚郷土史入門講座

江戸時代を中心とした平塚の郷土史の基礎的な知識を学ぶことで、地域を見つめ直すきっかけとしていただくための初心者向けの講座です。

講師：早田旅人（当館学芸員）

参加：各回自由（定員 50 名、先着順、開場は 15 分前）



慶応 4 年（1868）の土屋村の御用留

去年は明治 150 年でした。「平塚周辺の幕末・明治」をテーマに激変期にあった地域の動向を考えます。

第 1 回「戊辰戦争に参加した相模の神職」

内容：相模神職の草莽隊の活動とその意味

日時：1 月 26 日（土）午後 1 時 30 分～3 時

会場：教育会館実技研究室

第 2 回「維新时期平塚周辺の地域情勢」

内容：戊辰戦争前後の地域の世情・治安

日時：2 月 10 日（日）午後 1 時 30 分～3 時

会場：博物館講堂

第 3 回「自由民権の里 金目」

内容：金目地区で開花する民権運動

日時：2 月 24 日（日）午後 1 時 30 分～3 時

会場：博物館講堂

特別展が始まりました！

12 月 1 日より特別展示室部分のみ開館して、平成 30 年度かながわの遺跡展『潮風と砂の考古学』を開催しています（1 月 6 日まで）。



特別展準備 11 月 28 日

休館のため、館受付の場所が普段の場所と違うため業務用のインターネット LAN ケーブルを天井際に敷設している野崎学芸員。



特別展期間中の第 2 ホール 12 月 1 日

こちらを入口にしたのは開館以来初です。臨時で設置した受付ですが、機能はばっちり、正面の特別展看板がいい感じです。



展示室の様子 12 月 1 日

県内で出土した資料が見られます。



大盛況の特別展展示解説 12 月 8 日

解説は神奈川県教育委員会の久我谷さん。

2019年の天文現象

本来であれば、12月から1月にかけて、プラネタリウムで「2019年の天文現象」と題して同年に見られる天文現象をご紹介しているのですが、休館に伴いそれが叶いませので、この紙面をお借りして2019年の星空の見どころをご紹介したいと思います。ぜひ2019年の手帳にメモをしておいてください!

★1月6日(日): 部分日食

およそ3年ぶりとなる部分日食が日本全国で見られます。最大食分(太陽の半径のうち何割まで欠けるかを表す数字)は約0.4という部分日食のため皆既日食や金環日食のような派手さはありませんが、それでも太陽が欠けていく様子は見ていて飽きないものです。日食は月が太陽を隠すことで太陽が欠けて見えるもの…地球に最も近い天体(距離38万km)・月と1億5000万kmも離れた太陽がほぼ同じ大きさに見え、なお重なる奇跡のような現象をぜひお楽しみください!

日食の進行	時刻
部分食のはじまり	8:44
食の最大	10:06
部分食の終わり	11:36

日食の進行のようす
(平塚市での場合)



太陽が最も欠けたときの様子

「星を見る会」開催! 1月6日(日) 午前:9時15分~11時30分
※悪天候時中止(実施判断は午前8時)
会場:博物館前 文化公園噴水広場 参加:自由・無料
博物館ではこの部分日食に合わせて「星を見る会」を開催します。日食は安全に観察するために道具やちょっとしたコツが必要になります。ご自宅に道具がない!という方は、ぜひ博物館の星を見る会に参加してください!

<日食の安全な観察方法とやってはいけないこと>

- 専用の日食めがねで見る
- ピンホールをつかって地面に映して見る
- 鏡をつかって壁に映して見る
- ×肉眼で直接見る
- ×フィルム切れ端で見る
- ×ススをつけたガラスで見る
- ×サングラスで見る
- ×黒い下敷きで見る
- ×望遠鏡で見る

★4月9日(火): ヒヤデス星団の食

20時~21時ころ、月齢4の細い月が、おうし座の顔に相当する星のあつまり、ヒヤデス星団の星々を次々と隠していきます。肉眼でも楽しめますが、双眼鏡やオペラグラスがあれば地球照とともに楽しめるでしょう。

★夏休み: 木星と土星が見頃に

惑星の中で2大人気と言えば木星と土星でしょう。太陽系最大で縞模様やガリレオ衛星の動きが楽しめる木星、壮大な環が見どころの土星、どちらも夏休みに見頃を迎えます。特に土星の環の傾きは年々変わっていき、今は傾きが小さくなっていく時期です。環らしい姿が見られるのはここ数年なので、ぜひこの夏に土星を一目でも見ておいてください!



望遠鏡で見た土星の様子(イメージ)
周囲に見える星は土星の衛星

★11月下旬: 金星と木星が大接近

夕方の西空で宵の明星・金星と木星が大接近します。この時期、金星と木星は太陽、月に次いで3番目と4番目に明るい天体で、それが夕方の空で輝くわけですから非常に目立つことでしょう。明るい金星と木星はスマホでも撮影できますので、美しい夕焼けとともに写真を撮ってみてはいかがでしょうか?

1月～2月の博物館行事の予定

※変更になる場合があります

12月11日時点では以下の1月の行事は開催が決定していますが、2月分は変更になる可能性があります。最新の情報は**広報ひらつか**または**博物館ホームページ**でご確認ください。
年間会員制のワーキンググループの活動については、担当者にお問い合わせください。

月	日	曜	行事名	場所
1	6	日	○ 相模川流域ジオツアー入門	野外(湘南平)
			◎ 星を見る会	博物館前
	11	金	古文書講読会	教育会館
	18	金	古文書講読会	教育会館
	19	土	◎ 天文学入門講座	教育会館
			天体観察会天文学分科会	教育会館
			東国史跡踏査団	野外
			地域史研究ゼミ	教育会館
			平塚の空襲と戦災を記録する会	教育会館
	20	日	地球科学野外ゼミ	青少年会館
			天体観察会定例会	青少年会館
	24	木	石仏を調べる会	教育会館
	25	金	聞き書きの会	教育会館
			古文書講読会	教育会館
26	土	◎ 平塚郷土史入門講座	教育会館	
29	火	天体観察会太陽分科会	教育会館	

1月の展示

博物館の一部を開館して、特別展を開催します。

(この開催期間中、常設展及びプラネタリウムはご覧いただけません。また、博物館刊行物の有料頒布も中止しておりますので、ご了承ください。)

■平成30年度 かながわの遺跡展
(神奈川県文化遺産課共催)

『潮風と砂の考古学』

会期：～1月6日(日)

開館時間：午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

内容：神奈川県内の沿海や低地遺跡の発掘調査成果を集めて公開します。

会場：1階特別展示室

主催：神奈川県教育委員会、平塚市博物館

参加者募集中

■星を見る会 「欠ける太陽を見よう」(3頁参照)

■天文学入門講座「宇宙図を読む」

第2回『宇宙はしづく型?』

日時：1月19日(土) 13時30分～15時

場所：平塚市教育会館 実技研究室

定員：50人(先着順) 参加：自由・無料

■平塚郷土史入門講座(2頁参照)

月	日	曜	行事名	場所
2	1	金	古文書講読会	講堂
			天体観察会 カノーブス観察会	野外
	2	土	東国史跡踏査団	野外
			◎ 星空散歩	プラネタリウム
	3	日	天体観察会 流星分科会	科学教室
	4	月	休館	
	5	火		
	6	水		
	7	木		
	8	金	古文書講読会	講堂
			お囃子研究会	講堂
	9	土		
	10	日	◎ 平塚郷土史入門講座	講堂
			平塚の古代を学ぶ会	科学教室
			◎ 星空音楽館	プラネタリウム
	11	月		
	12	火	休館	
	13	水		
	14	木	平塚石仏の会	特別研究室
			古代生活実験室	科学教室
	15	金	古文書講読会	講堂
			◎ 星を見る会	科学教室/屋上
	16	土	地域史研究ゼミ	特別研究室
			平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室
	17	日	地球科学野外ゼミ	野外
	18	月	休館	
	19	火		
	20	水	裏打ちの会	科学教室
民俗探訪会			講堂	
21	木			
22	金	古文書講読会	講堂	
		聞き書きの会	特別研究室	
23	土	お囃子研究会	講堂	
24	日	◎ 平塚郷土史入門講座	講堂	
		◎ 天文学入門講座	講堂	
25	月	休館		
26	火	天体観察会 太陽分科会	特別研究室	
27	水			
28	木	月末休館		
		石仏を調べる会	講堂	

○：申込制行事 ◎：参加自由 無印：年間会員制

1月の休館日：1、2、3日、7日～再開館まで

あなたと博物館 48巻9号 通算504号 発行 平塚市博物館 2000

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949 ホームページ <http://www.hirahaku.jp/>